

自動販売機事業からの撤退に関するお知らせ

株式会社クボタ(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:木股昌俊、以下 当社)は、この度、日本、東南アジア及び中国における自動販売機及び給茶機の製造・販売・アフターサービス事業(以下「自動販売機事業」)から撤退することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 撤退に至る経緯

当社は、1963年に自動販売機事業を開始し、その後、クボタベンディングサービス株式会社(以下「KVS」)、P.T. METEC SEMARANG(以下「PTMS」)及び久保田自動販売機(上海)有限公司(以下「KVMS」)等の子・関連会社を順次設立して、事業展開を図って参りました。

しかしながら、国内市場の縮小傾向、製品価格の下落、材料費の値上がり等、昨今の事業環境は厳しい状況が続いており、これに対処するためコスト削減や東南アジア・中国における自動販売機市場への参入等の諸施策に取り組んで参りましたが、業績改善を図ることは困難と判断し、自動販売機事業から撤退することといたしました。

2. 撤退する事業の概要

(1) 当社

日本向け自動販売機及び関連製品の製造・販売・アフターサービス業務

(2) KVS

日本における中古自動販売機の整備、日本向け自動販売機及び関連製品に係るアフターサービス業務の受託

(3) PTMS

各国向け自動販売機及び関連製品の製造、東南アジア向け自動販売機の販売・アフターサービス

(4) KVMS

中国向け自動販売機の販売・アフターサービス、中国内での自動販売機による飲料販売

3. 今後の予定

2017年12月末の撤退完了を目途としております。なお、自動販売機事業からの撤退に関連して、富士電機株式会社(以下「富士電機」)との間で、2017年11月15日(予定)をもって、PTMSの全株式を富士電機グループに譲渡すること、及び当社がこれまで販売しました自動販売機に係るアフターサービス業務(メンテナンス、整備及び部品販売に係る業務)を富士電機グループに承継すること等を目的とした株式等譲渡契約を本日締結いたしました。

4. 業績への影響

当該事業からの撤退による業績への影響につきましては現在精査中であり、業績に大きな影響を与えることが見込まれる場合には、確定しだい速やかにお知らせいたします。

以上